



■ 大山組のリフォーム 「目からウロコのリフォームアドバイス それはこのことでした…!」

マンション
リフォーム
N様

最新事例紹介

N様のお話

家族4人が再び揃った暮らし 叶えたのはリフォームでした!



計画当初、昨年行った賃貸マンションリフォームのようなコスト優先の感覚で部材選定を考えていた私たちに対し「今回はご自宅のリフォームなので、コスト面に縛られ過ぎずもっと自由に選ばれては？」という目からウロコのアドバイスを頂き、とても参考になりました。

室内を明るく見せたいという希望に対しては、インテリア写真、壁紙や床材サンプルなどを使って好みを引き出してくださり、イメージ通りのデザインになりました。

また、この春に京都での学生生活を終えた娘の荷物を「あずか〜る」(工事中の荷物無料保管)で預かって頂いたり、転勤先の住まいで愛用していたガス乾燥機を群馬まで取りに行き、更には工事中に判明した雨漏りの瑕疵担保に関して、私たちに代わり売主さんと調整して下さいと、本当にきめ細やかな対応を頂きました。

家族4人が納得する住まいとなり、大山組さんには家族全員大変感謝しております!



【物件概要】○工事内容/内装リフォーム ○用途/集合住宅
○築年数/35年 ○東京都大田区山王

昨年、上野毛の賃貸マンションのオーナーとして、外装リフォームでこのコーナーにご登場頂いたN様。この度、ご主人の群馬での転勤終了を機に、JR大森駅徒歩4分という好立地の中古マンションを購入、リフォームを行い住み替えをされました。緑に囲まれた傾斜地の中腹に建つマンションの1階で、大型の専有庭を持つご自宅。庭に面した二部屋の間仕切り壁を取り払い、新たに可動式間仕切り扉を設置して、空間の大きさをフレキシ

ブルに変更できる大型リビングとしました。地面むき出しだった庭には、ウッドデッキを敷き詰めて、リビングと一体感のある広々とした眺めを実現。またマンション特有の大きな天井の梁には、間接照明を施してやわらかな光をもたらし、存在感を軽減しました。仕事や学校の都合で離れて生活してきたご家族が、今回東京に集い、4人揃って生活できる新たな自宅が完成しました!



☎ 0120-6600-62
受付時間 8:00~17:30 月~金 *土日祝休

探していたのは
マイホームじゃなくて
マイスタイルホームでした。

■ 大山組のリフォーム



武蔵小杉エリアで70年 www.ohyamagumi.co.jp
株式会社 大山組 Tel 044-411-3708 Fax 044-433-4595
〒211-0006 川崎市中原区丸子通1丁目 640-5



店舗
リフォーム

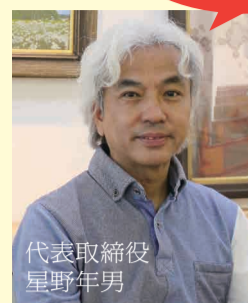
地域の方々が、ゆっくり鑑賞頂ける 展示空間が完成しました。

■ 大山組のリフォーム

オーナー様の声



私たちの主力事業である百貨店での
展示会は、1週間程度という限られた
会期のため、取り扱うすべての作家を
紹介するには限度があります。美術館
では紹介されない現代若手作家の作品
をゆっくりと鑑賞頂きたいと考え、この
地域密着型の常設展示スペースを作り
ました。



代表取締役
星野年男

これまでの取扱いは絵画が中心でし
たので、リフォーム当初は、壁掛けの
絵画展示用を中心に考えていました。
しかし今後は陶磁器やオブジェなど
幅広いアート作品にも力を入れたい
ということで、工事中に相談して、
絵画以外のオブジェなどを人が手に
取り鑑賞しやすい、高さ85cmの
工芸台を左右の壁際に作って頂き
ました。おかげで私たちのイメージ
通りの空間に仕上がりました。大変
感謝しています！

全国の百貨店画廊でのアート作品販売
を展開するT&Tギャラリーさん。この
度、作品の保管倉庫だったスペースを、
地域の方々が気軽に立ち寄れる展示
スペースへとリフォームしました。

展示スペース天井にはピクチャーレール
やスポットライトを設け、壁にはクロ
ス下に合板を入れて補強するなど、見え

る部分だけでなく見えない部分にも細
かな工夫を施しました。

また、道行く人にも旬の作品をご覧
頂けるようショーウィンドーも設けて
います。

8月末までリニューアルオープン展が
開催中です。どなたでもお気軽にお
立ち寄り頂けるそうです！



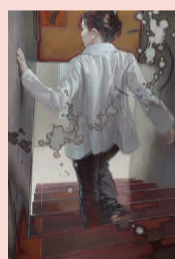
T&T GALLERY

神奈川県川崎市中原区
丸子通1-639 大山第二ハウス
営業時間 10:00-17:00 土日祝休
電話 044-431-0631
<https://tandt-gallery.com/>

リニューアルオープン展

藤田嗣治、岸田劉生などの物故の名
品、三嶋哲也、百瀬智宏、柏本龍太
などの写実絵画作品、若佐慎一、平
田望ら最新世代のフレッシュな
作品まで幅広く展示中！！

8月末まで
開催！



左から
百瀬智宏「夏風の野」
6M (24.3×40.9cm) 油彩
柏本龍太「sign」
30M (90.9×60.6cm) 油彩
中川一政「魚」
45×45cm 掛軸
三浦賢一「パッション」
12P (60.6×45.5cm) 油彩

新連載

社長の目から ウロコが落ちる



「極論ではあろうが“人は自分自身について語る
とき、それはつねに自慢話である”と作家の阿刀
田高さんが先月の日経新聞“私の履歴書”で述べ
られてました。全くもって同感です。だとすれば
自分のことはもとより自分の会社や所属する組織
について語ることも同じこと。広告宣伝も全て自慢。
新聞記事でさえ、事件事故のたぐいを除けば、結
局なにがしかを語っているのですからみな自慢の
はずです。

振り返れば元気宣言も、大山組さん最高でした！

と他人の口を借りた自慢のオンパレード(笑)。こ
れまで89回に渡り、ありとあらゆる企画を通じ、
手を替え品を替え自慢の限り(?)を尽くしてき
ましたが、15年の時を経て今回、ついにそのネ
タが尽きてしまいました。同じスタッフで作りに
続けてきた限界なのか、それとも我ら凡人のアイ
デアの泉が浅すぎたのか、もう考えても考えても思
い付くのは過去に使ったネタばかり。万策尽きて
遂に元気宣言も終刊宣言か!?!と誰もがそう思
った時、編集スタッフの一人がこう呟きました。

「こうなったら社長が自らコラムを書いたらどう
ですか?」

これまで薄々感じてました。いずれこうなるの
ではないかと。そして恐れてました。阿刀田先生

の指摘を待たずにそれは結局自慢の披歴だらけに
なるのではないかと...

あーやりましょう! やりましょうとも! 完全競
争の現代社会、サービスの質だけではとても競争
には勝てません。もっと大山組の良さを知って
もらわなければ、もっと自慢しなければ、そうし
なければお客様の心は掴めません! ということで
長々綴ってきましたが、社長コラム始めます(^)。
私たちを取り巻く様々な出来事を、悲喜こもごもを、
笑いあり、涙ありの人間ドラマを!?! 社長の私の目
を通して憚ることなく自慢?したいと思ひます。
ぜひご期待ください。次号からをお楽しみに(^)v

小杉小学校ができるまで

その8 ～ 屋上防水・サッシ工事編 ～



屋上防水工事 (体育館棟)



サッシ工事 (校舎棟)

施工: 大山・野州共同企業体

完成に向け残り半年を切りました。
体育館棟屋上は、防水工事を行い、そ
の上にゴムを敷き詰め、外周に目隠し
フェンスを取り付けてグラウンドになり
ます。校舎棟では1階よりサッシを取
り付け、終わった箇所から石膏ボード
による間仕切り壁の建て込みが着々と進
んでいます。

360°ビュー最新画像はこちら



編集後記

元気宣言の編集会議で毎回決まって議題になるの
が「ここでしか読めないコンテンツ作り」。建主探
訪や現場見学会レポートなど、他では読めない情報
かもしれませんが、少々マンネリ気味なので今回思
い切って新コーナーを設けることにしました。その
名も「社長の目からウロコが落ちる」。知識や情報
の賞味期限が益々短くなる昨今ですが、当社社長が
目に留まった気付きや感動のあった出来事を書き下
ろすことにしました。毎月初出ネタで勝負します!
みなさまどうぞご期待ください!! (た)

元気宣言へのご意見ご要望をお待ちしております。ホームページのお問い合わせフォームもしくは郵便(大山組本社宛)で「元気宣言係」まで。宜しく申し上げます(^)

今月の駄洒落:「クラス議題が暗すぎだ!」(練馬区 黒崎雄也さん)★★★